

IATSS NEWS

学会通信 国際交通安全学会

- 「IATSSフォーラム創立40周年記念式典」開催
- 第68回 IATSSフォーラム修了
- 国際交通安全学会シンポジウム「持続可能で安全なモビリティ環境の共創～能登半島の復興まちづくりに向けて～」の開催
- IATSS RESEARCH Vol.49, Issue 3～4発行

「IATSSフォーラム創立40周年記念式典」開催

40周年記念式典

■第1部

会長挨拶	会長	武内和彦
祝辞	駐日ラオス特命全権大使 三重県政策企画部部長 鈴鹿市副市長 本田技研工業(株)取締役代表執行役副社長	Amphay Kindavong 長崎禎和 樋口幸人 貝原典也
ビデオメッセージ	タイ王国前文化大臣 (第11回同窓生) シンガポール共和国WTO及び WIPO政府代表部常駐代表 (第17回同窓生)	Vira Rojpojchanarat Tan Hung Seng
表彰状・感謝状贈呈	顧問 顧問 (株)レグルス代表取締役会長 ボランティア代表	足立文彦 溝田 勉 伊藤良一 古市善宏
IATSSフォーラムビジョン発表	IATSSフォーラム部会長	中村彰宏

■第2部

基調講演	東京大学未来ビジョン研究センター教授	高村ゆかり
パネルディスカッション		
モデレーター	IATSSフォーラム副部会長	北村友人
パネリスト	東京大学未来ビジョン研究センター教授 マレーシア・プトラ大学ビジネス経済学部客員教授(第21回同窓生) フイピン高等教育機関評価機構理事長兼理事会会長(第44回同窓生) PPM経営大学大学院 講師 (第58回同窓生) タイSCGケミカル社環境保護・戦略マネージャー(第66回同窓生)	高村ゆかり Zuraidah Atan Anthony M. Penaso Anggun Pesona Intan Puspita Bhanuphong Naknakorn

(敬称略)



▲40周年式典

IATSSフォーラムは、1985年の創立以来、アジア10カ国（カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）を中心に研修生を受け入れ、次世代リーダーの育成に取り組んできました。これまでに同窓生は1,200名を超え、政府、大学、企業、国際機関など、さまざまな分野で活躍しています。

2025年に創立40周年を迎え、11月9日、三重県の鈴鹿サーキットにて記念式典を開催しました。式典には、国内外から約200名の関係者が参加し、会場の様子はオンラインでも配信されました。

第1部では、駐日ラオス特命全権大使、三重県・鈴鹿市の代表者、本田技研工業(株)代表者から祝辞をいただいた後、これまでIATSSフォーラムの活動を支えて下さった方々に対し、表彰状・感謝状を贈呈しました。また、中村彰宏部会長よりIATSSフォーラムビジョン2025の発表がありました。

第2部では、東京大学未来ビジョン研究センターの高村ゆかり教授より基調講演をいただきました。続いて高村教授、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイの同窓生代表が参加し、北村友人副部会長をモデレーターとしてパネルディスカッションが行われました。

当日の映像は、下記リンクよりご視聴いただけます。ぜひご覧ください。

▶ <https://youtube.com/live/vKUXPK7E4xc?feature=share>

第68回IATSSフォーラム修了

2025年9月15日から約2カ月にわたり、アジア10カ国から計20名が参加した第68回IATSSフォーラム（2026年秋研修）が開催されました。

IATSSフォーラムは社会の持続的発展を担うアジアの若手リーダーの育成を目的とし、1985年に運営を開始して以来、時代に合わせてプログラムの内容や方法を進化させてきました。2024年度からは「モビリティを通じたウェルビーイングの向上」を中テーマに掲げ、それまでの環境、経済、教育、政治等のセミナーに加え、IATSSの特色を活かしたモビリティに関連する新しいプログラムを導入しています。

68回フォーラムでは、広島フィールドスタディを新たに取り入れました。被爆から80年間の復興と平和発達の歴史、そして、復興のシンボルともいえる路面電車について学ぶ機会を設けました。

プログラムの終盤には、3つのグループに分かれ、各国・各地域での持続可能な社会づくりのためのグループ研究に取り組みました。

1. “Y-Traffic Awareness: Move Safe, Live Green (Davao City, Philippines)”
フィリピン・ダバオ市における持続可能な地域社会の実現に向けた、大学生の交通安全意識の向上
2. “Building a Culture of Preparedness: Community-based DRR Education (Sicogon Island, Philippines)”
地域主体の防災・減災教育を通じた、フィリピン・シコゴン島での災害への備えの文化づくり
3. “Revitalising Rural Livelihoods in Muang Paksong, Laos through Community-based Tourism and Entrepreneurship Ecosystem Building”
地域主体の観光と起業エコシステムづくりによる、ラオス・ムアンパクソンの農村地域再生

11月8日（土）には研究発表会を開催し、インドネシア、タイ、ラオスの駐日大使館関係者や、過去の研修修了者など約200名の前でプレゼンテーションを行い、各グループとも好評と貴重なアドバイスをいただきました。研究発表会の後に行われた修了式で、アンバイ駐日ラオス特命全権大使から祝辞をいただき、第68回フォーラムを修了しました。



▲ 研究発表会



▲ 第68回研修生

国際交通安全学会シンポジウム「持続可能 で安全なモビリティ環境の共創～能登半島 の復興まちづくりに向けて～」の開催

日時：2025年12月15日（月）14時～16時

会場：東京コンベンションホール

挨拶

PL挨拶

来賓挨拶

提言報告

パネルディスカッション

モデレーター

パネリスト

会長

IATSS会員

国土交通省大臣官房公共交通政策審議官

副会長

IATSS会員

IATSS会員

IATSS会員

特別研究員（公立小松大学大学院教授）

IATSS会員

副会長

IATSS会員

オブザーバー（石川県交通総合対策監）

武内和彦

森本章倫

池光 崇

中村文彦

森本章倫

一ノ瀬友博

大木聖子

高山純一

中村彰宏

中村文彦

平岡敏洋

三林直慶

（敬称略）

2024年1月1日の能登地震発災の約半年後、学会内で各分野の精鋭の会員を集めたプロジェクト活動を始め、能登半島の復興に対する提言をまとめてきました。

このシンポジウムでは、昨年の学会50周年記念式典で発信した「IATSSビジョン2024」に基づき、幸福感に満ち、持続可能な地域を実現すべく、安全なモビリティ環境をどのように推進するべきか、さまざまな戦略・施策の提言を行いました。また、プロジェクトメンバーによるパネルディスカッションを通じて、その提言内容をより深く掘り下げた議論を行い、提言に込めたさまざまな思いもお伝えしました。



▲池光審議官 ご挨拶



▲提言報告 中村副会長



▲パネルディスカッション



▲提言リーフレット



▲発表資料

IATSS Research Vol.49, Issue 3~4発行

IATSS Research Vol.49, Issue 3~4が発行されました。
Elsevier Ltd.のサイトより、無償で全掲載論文のダウンロードが可能です。

Vol. 49, Issue 3

▶ <https://www.sciencedirect.com/journal/iatss-research/vol/49/issue/3>

Vol. 49, Issue 4

▶ <https://www.sciencedirect.com/journal/iatss-research/vol/49/issue/4>